

# 環境学研究科 環境マネジメント専攻 [修士課程]

ディプロマ・ポリシー(DP)	カリキュラム・ポリシー(CP)
<p>◆環境マネジメント専攻[修士課程]</p> <p>所定の30単位以上を修得し、以下の力が修得されたと認められ、特定課題研究の審査に合格した者に、修士(環境学)の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自然の仕組みや持続可能な発展の概念を深く理解し、持続可能な社会に向かう自分なりの中長期的ビジョンを有している。</li> <li>2. 環境学についての幅広く深い知識や経験のもと、環境をめぐる解決や発展を図るため独自の問題意識を持つ。</li> <li>3. 以下いずれかの分野で専門性を実務に活かすことができる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業等における環境経営のための環境マネジメント推進者として、ESG経営などに関わる環境マネジメントシステムを理解し、システムの構築、実践、評価ができる。</li> <li>・企業活動や製造業におけるエコプロダクツ製品あるいは企業活動全体の環境評価推進者としてLCA手法等による評価ができる。</li> <li>・地域の低炭素化、循環経済、自然との共生など地域の持続可能な発展に貢献するため、地域社会の環境問題を発見、改善提案できる。</li> </ul> </li> </ol>	<p>◆環境マネジメント専攻 [修士課程]</p> <p>環境学研究科では、環境に関する専門的職業人を養成するため、環境分野の社会動向を注視し、教育内容を時代に即して、持続可能な企業社会・地域社会の実現に対応できるカリキュラムを編成する。</p> <p>標記の人材育成目標を達成するため、カリキュラムは、講義科目および演習科目によって編成し、講義においては、最新の知識と実践力を身につけるための基礎を養う。具体的には、持続可能な発展の概念を深く学ぶ「持続可能な発展研究 1」などを共通必修科目として配置する。それらをベースとして、「地域環境マネジメント」「環境経営」「エコプロダクツ」それぞれの領域について深く学べる科目群を配置する。研究の集大成となる特定課題研究演習では、指導教員による継続的な論文指導を行う。</p>